

四 国 銀 行

ミニディスクロージャー誌

第199期営業のご報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

平成25年3月期

A yellow five-petaled flower graphic with the text "Just Like Family!" written inside in a white, rounded font. The text is arranged in three lines: "Just", "Like", and "Family!".

Just
Like
Family!

MINI DISCLOSURE 2013

皆さまには、平素より四国銀行グループに格別のご支援、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、当行では、皆さまに一層のご愛顧を賜りたく「平成25年3月期ミニディスクロージャー誌第199期営業のご報告」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、わが国経済は、長引くデフレ経済からの脱却に向け、明るい兆しが見えつつありますが、地域経済をとりまく環境は依然として厳しく、当行は、地域活性化に向けた取組みを一層強化していく必要があると認識しております。

このような中、当行では、本年4月から3ヵ年の中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦ステップ1」を新たにスタートさせました。

本中期経営計画は、10年後のあるべき姿「真っ先に相談され、地域の発展に貢献する ベスト リライアブル・バンク」の実現に向け、3つのステップを踏んで到達するためのファーストステージと位置付け、銀行経営全般のダイナミックな変革に取り組んでまいります。

当行は、中期経営計画の各施策を着実に実行することにより、地域の発展への貢献力、金融サービス力、人財力、財務力などの点において、最も確かな、信頼できる、頼りになる、と評価をいただき、真っ先に相談される銀行として、地域、お客さま、株主、従業員から支持され続ける存在となることを目指してまいります。

引き続き一層のご支援ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取 野村直史

● 経営理念

企業使命 地域の金融ニーズに応え、社会の発展に貢献します。

経営方針 企業倫理に徹し、健全な経営を行います。

行動規範 お客さまを大切にし、社会的責任を持った行動をします。

目標とする銀行像

「信頼される銀行」「健全な銀行」
「活気ある銀行」として、
地域・お客さま・株主・従業員から
支持される銀行を目指します。

中期経営計画

当行は、10年後のあるべき姿の実現に向け、平成25年4月から平成28年3月まで3カ年の中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」を策定いたしました。

■ 10年後のあるべき姿（長期ビジョン）

真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク

■ 中期経営計画の位置付け

ダイナミックな変革

本計画[25年度～27年度]

ベスト リライアブル・バンクの実現に向けた
経営全般のダイナミックな変革

第1ステップ

10年後のあるべき姿の実現に向け、3つのステップを踏んで
到達するためのファーストステージ

ダイナミックな進化

次期中計[6年後の姿]

お客さまからの信頼度と
財務力の飛躍的向上

第2ステップ

次世代の更なる
成長・発展に向けた挑戦

次々期中計[10年後のあるべき姿]

真っ先に相談され、
地域の発展に貢献する
ベスト リライアブル・バンクの実現

第3ステップ

■ 中期経営計画の概要

名称

「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」

～真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンクの実現を目指して～

【戦略目標の体系図】

地域、お客さま、株主、従業員から
支持され続ける銀行

計画期間

平成25年4月～平成28年3月

ビジョン

真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンクの実現

戦略目標

戦略目標Ⅰ >> 組織をダイナミックに変える

戦略目標Ⅱ >> ヒトと意識をダイナミックに変える

戦略目標Ⅲ >> 高い金融サービス力の発揮

戦略目標Ⅳ >> 財務力の向上

数値目標(平成28年3月期)

項目	数値目標
コア業務純益	105億円以上
コアOHR	71%未満
与信コスト率	0.3%以下
不良債権比率	4%台前半
コア資本比率(※)	10%以上

※経過措置適用ベース

戦略目標

Ⅳ 財務力の向上

【目指すもの】

地域の信頼に応え得る
財務力の確立

【3年間で成し遂げるべきこと】

収益性・効率性の向上
健全性の向上

Ⅲ 高い金融サービス力の発揮

【目指すもの】

お客さまからの信頼度の向上による
高知県内での圧倒的な地位の確立、
県外でのスーパーサブ化

【3年間で成し遂げるべきこと】

法人取引規模拡大の実現
個人取引規模拡大の実現
企業活力、地域活力向上への貢献

Ⅰ 組織をダイナミックに変える

【目指すもの】

競争に打ち勝つ経営インフラの確立

【3年間で成し遂げるべきこと】

営業チャネルの改革(第1段階)
競争力と機動力の高い営業店支援態勢の実現
ノンコアビジネスの抜本的改革

Ⅱ ヒトと意識をダイナミックに変える

【目指すもの】

10年後を見据えた人財の質・量の確保

【3年間で成し遂げるべきこと】

次世代人財の育成
モチベーション向上による組織活性化
戦略全体のPDCAが回る仕組みづくり

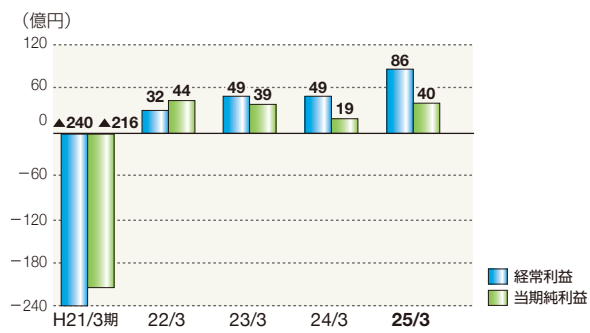
運動



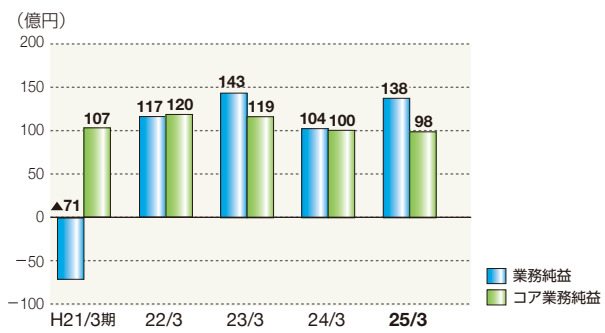
業績の推移

損益につきましては、業績の向上と経営の効率化に努めました結果、
経常利益は86億63百万円、当期純利益は40億58百万円となりました。

● 経常利益と当期純利益

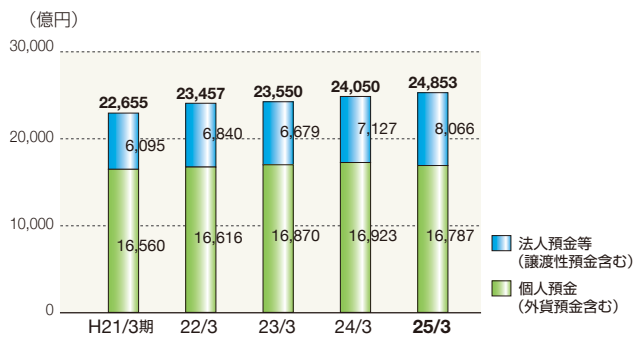


● 業務純益とコア業務純益

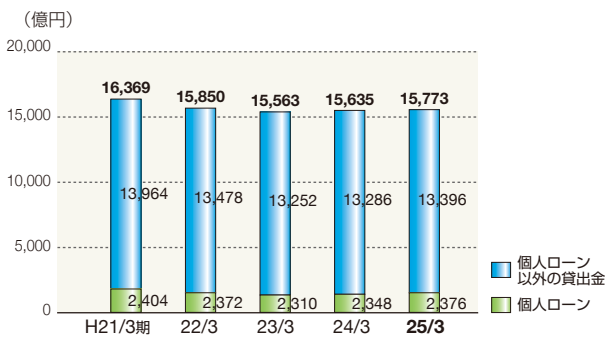


※コア業務純益とは…業務純益から国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

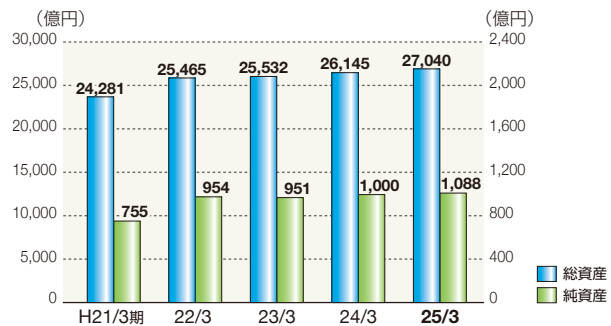
● 総預金と個人預金



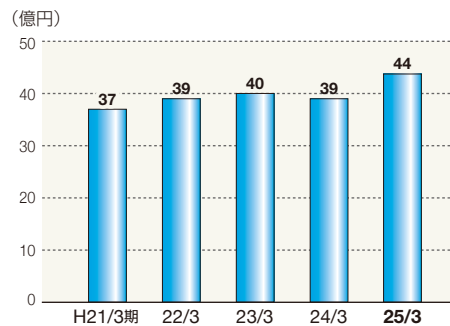
● 貸出金と個人ローン



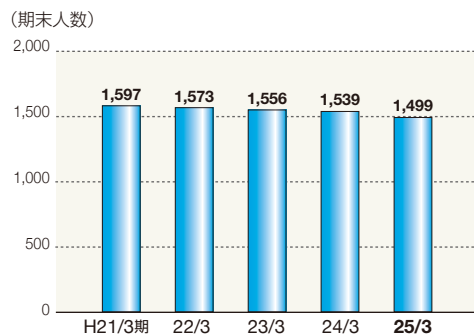
● 総資産額と純資産額



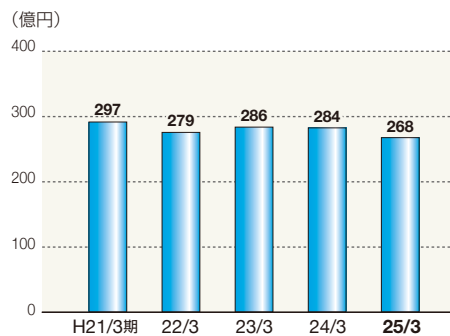
● 役務取引等利益



● 従業員数

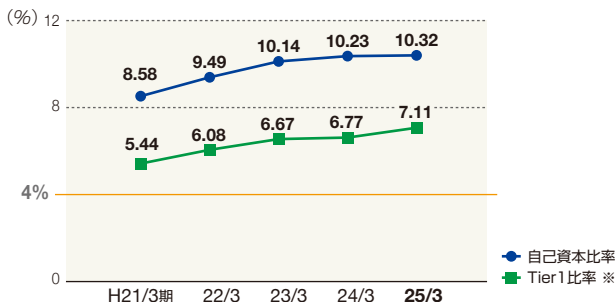


● 営業経費



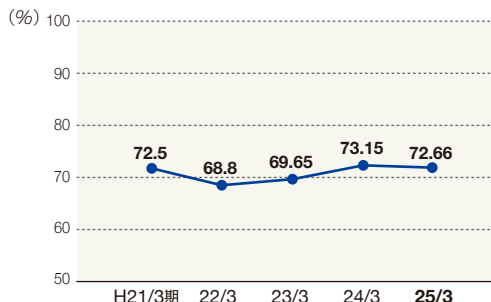
当行の取組み方針や業績、格付などをご理解いただき、
これからも安心してお付き合いください。

● 自己資本比率（国内基準）



※Tier1比率は銀行の本質的な健全性を示すものです。

● OHR（コアベース）



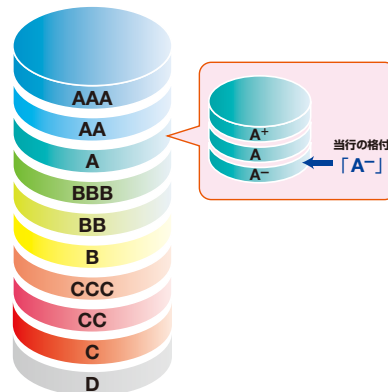
※OHR(コアベース)とは…業務粗利益から国債等債券関係損益を除外したものであるものに対する経費の割合です。

● 格付について

「格付」は企業の信用度や債務履行の確実性などを簡素な記号で表わしたものです。格付機関により企業の財務内容や収益力が総合的に判断されます。当行は日本格付研究所から格付「A⁻」を取得しております。長期格付「A⁻」は「債務履行の確実性は高い」とされており、健全な銀行として高い評価を得ております。

AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
A	債務履行の確実性は高い。
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

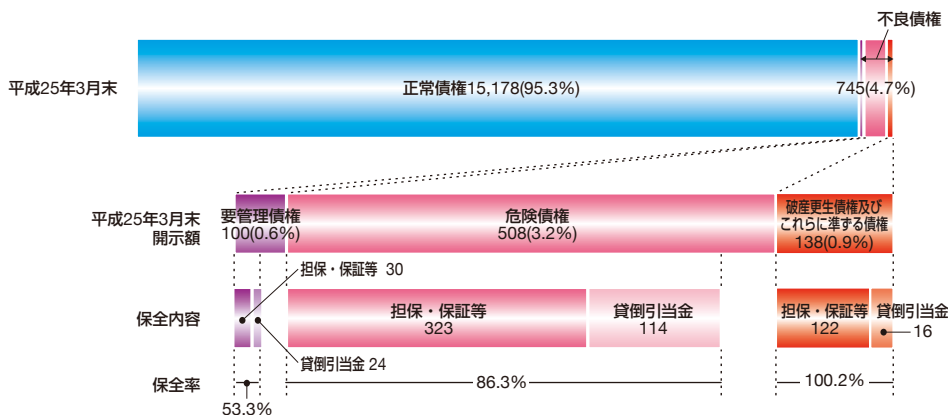
AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス(+)もしくはマイナス(-)の符号による区分があります。



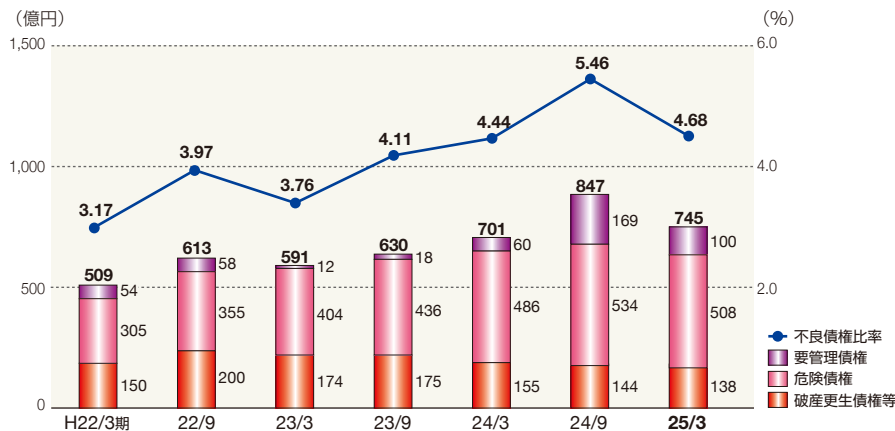
不良債権の状況

貸倒引当金及び担保等による保全率(金融再生法ベース)は平成25年3月末84.4%と十分な水準を確保しています。

● 金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況 (単位：億円) ※四捨五入で表示しています。



● 金融再生法開示不良債権と不良債権比率 ※金額については四捨五入で表示しています。



用語解説

● 正常債権

「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権です。

● 要管理債権

「要管理債権」とは、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」に含まれない3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

● 危険債権

「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

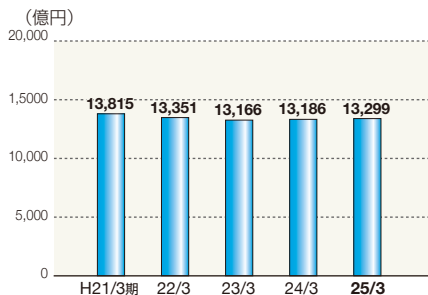
● 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

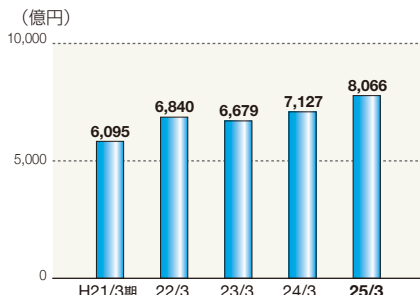
地域の皆さまとともに

地域のお客さまに対し、ご融資や私募債のお引き受けなどを通じ、円滑な資金提供に努めています。

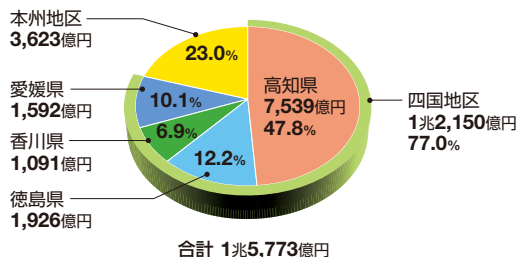
● 法人等貸出金



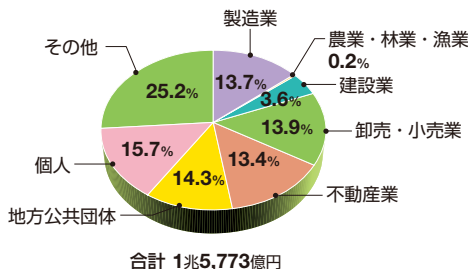
● 法人預金等 (譲渡性預金含む)



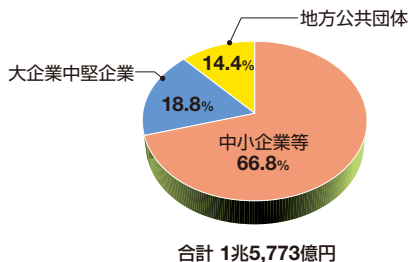
● 地域別貸出金残高 (平成25年3月末)



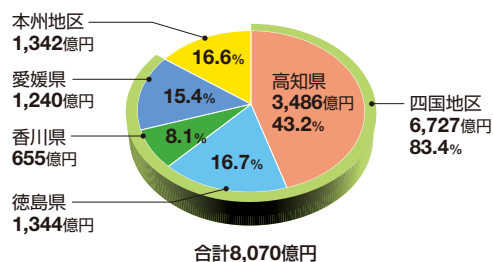
● 業種別貸出状況 (平成25年3月末)



● 中小企業等貸出金の割合 (平成25年3月末)

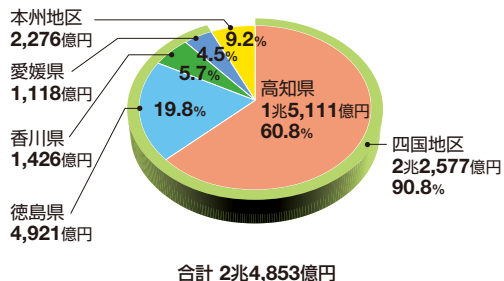


● 地域別中小企業向け貸出金 (平成25年3月末)

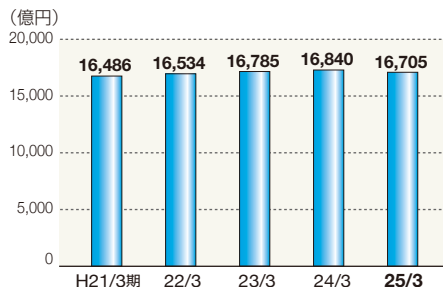


多様化するお客さまのニーズにお応えし、さまざまな資産運用商品を取りそろえるとともに、それぞれのライフプランングのお役に立てる商品・サービスの充実に努めています。

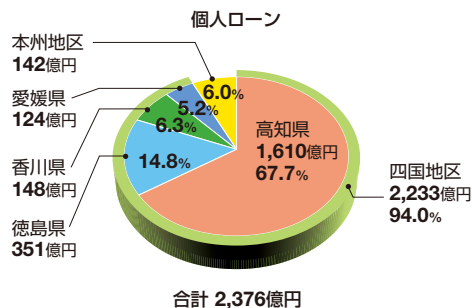
● 地域別預金等残高 (平成25年3月末)



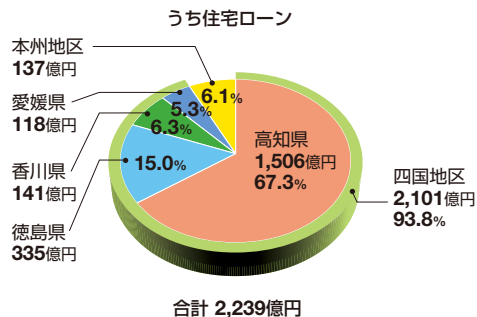
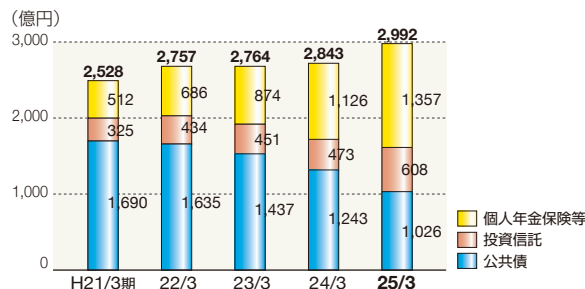
● 円貨個人預金の推移



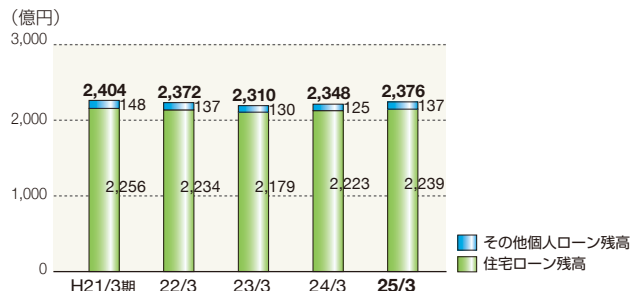
● 地域別個人ローンの状況 (平成25年3月末)



● 個人預り資産



● 個人ローン



当行は、長期的・安定的な金融仲介機能、コンサルティング機能の提供を通じて地域経済の活性化へ貢献していくことが、地域金融機関の使命と考えております。

本年4月から新たにスタートさせました中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」においても、「コンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「積極的な情報発信」を積極的に推進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

●新エネルギーや節電・防災対策への取組み

平成24年8月、お客さまサポート部内に「新エネ・防災サポートデスク」を設置しました。

新産業・新市場創出の成長戦略に掲げられている「新エネルギー」、東日本大震災以降、地域の喫緊の課題となっている「防災対策」、緊急事態が起こった時の事業の早期復旧や継続のための「BCP（事業継続計画）の策定」、電力の需給ギャップに配慮した「節電や省エネ」へのお客さまの取組みをサポートします。

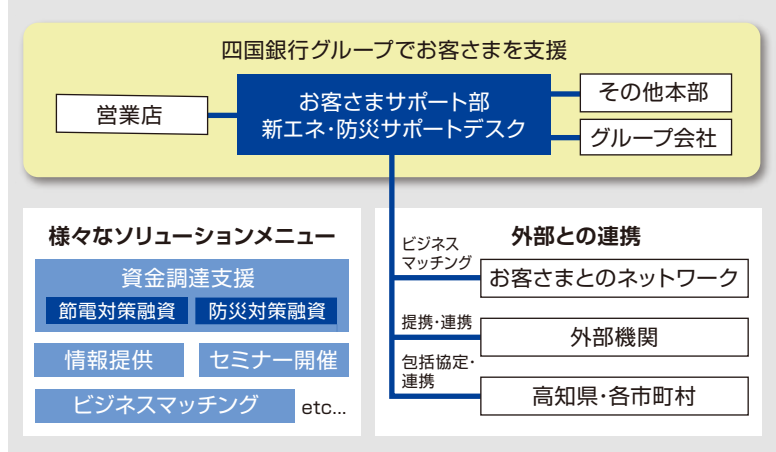
この分野は、高度で専門的かつ広範囲のニーズが予想され、継続した支援も求められることから、組織一丸となった取組みができる体制に強化しました。

当行は高知県と連携し、官民一体となって防災対策を推進しています。地域の金融機関として「防災対策の支援」、「防災産業の振興」を重要な柱として、防災全般に関する地域企業の幅広いご相談にお応えします。

地域産業の競争力強化、災害時の被害軽減・経済活動存続



適時・最適なソリューションを提供



●食品展示会を通じて、出展企業の販路拡大を支援

平成24年9月、JR池袋駅直結のメトロポリタンプラザビル1階で、「高知・リョーマの休日祭」を開催しました。高知県の食材を使ったお菓子、飲料など食料品を取り扱う20社の展示販売にあわせ、観光PRなどをにぎやかに行い、首都圏の消費者に豊かな自然に育まれた全国屈指の食の宝庫「高知ブランド」を宣伝しました。初の首都圏開催となるイベントでしたが、反響は大きく、官民一体となって高知県を宣伝できました。

平成25年2月には、量販店、卸売業者を中心とした日本最大級の展示会「スーパーマーケット・トレードショー2013」に参加し、高知県ブースに47社が出展。平成25年3月には、アジア最大級の国際食品・飲料専門展示会「FOODEX JAPAN2013」に参加し、高知県ブースに20社が出展しました。高知県と連携を図りながら、出展企業の販路拡大を支援しました。

当行は地域経済の活性化を目的として、お客さまの販路拡大や、高知県のPRに積極的に取り組んでいます。成長戦略等の各種施策、地域アクションプランの支援を通じ、高知県産業振興計画の推進を後押ししています。



「高知・リョーマの休日祭」



スーパーマーケット・トレードショー2013



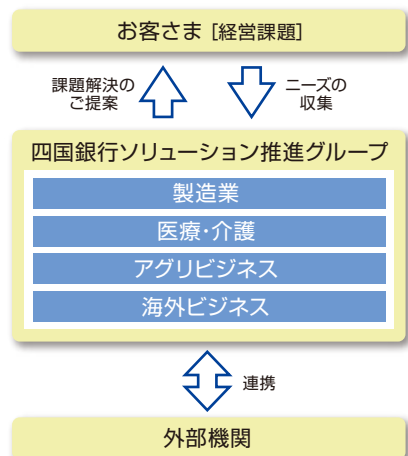
FOODEX JAPAN2013

●創業・新事業への取組み

地場産業の支援やお客さまの業績向上を側面的に支援するため、お客さまサポート部に「ソリューション推進グループ」を設置しています。事業承継、M&Aの仲介、製造業、医療・介護、アグリビジネス、海外ビジネス等に関するお客さまからの経営相談に対し、外部専門機関と連携しサポートに取り組んでいます。また、事業承継や医療・介護など各種セミナーの開催により、お客さまの業務に活かすことのできる情報発信を行っています。



■当行の地域密着型金融 推進体制



●海外進出支援への取組み

①高知県との連携強化～日中ものづくり商談会@上海2012へ参加～

平成24年9月、今回で15回目の開催となる地方銀行・自治体など39団体合同での「日中ものづくり商談会」に高知県と連携し参加しました。今年の商談会には高知県から6社が出展し、中国での販路拡大、部品調達など中国企業と活発な商談が行われました。



「日中ものづくり商談会@上海2012」

②四国 FOOD MEETING IN 台北 2013へ参加

平成25年3月、四国経済連合会、四国産品アジア輸出研究会主催の「四国 FOOD MEETING IN 台北 2013」に高知県企業7社と共に参加しました。商談会には四国4県合計17社、台湾側は商社を含め51名のバイヤーが参加し、活発な商談が行われました。

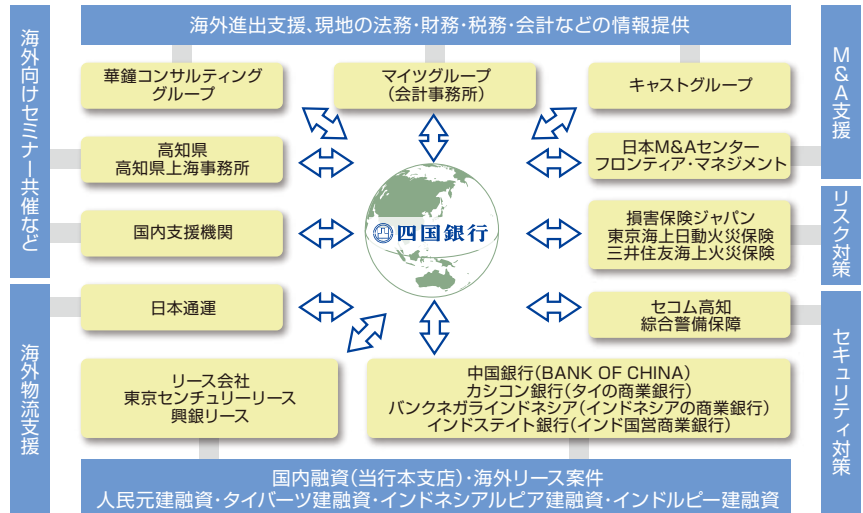


「四国 FOOD MEETING IN 台北 2013」

③海外サポートネットワークの強化

お客さまの海外進出をトータルサポートするため、外部機関との提携の強化を図っています。中国や東南アジアを中心に、海外現地の法務・財務・税務に関するご相談、海外事業展開のための資金調達に関するご相談、輸出入の手続き、販路拡大や部品調達などのご相談にお応えしています。直近では海外拠点のセキュリティ対策支援としてセコム高知、総合警備保障と提携を行いました。今後もお客さまの海外展開を積極的にサポートしてまいります。

【海外業務ネットワーク】



●環境保全への取組み

環境問題への取組みを重要な経営課題と位置付け、本店及び本店別館においてISO14001の認証を取得のうえ、省エネ・省資源、森林保全活動や環境関連商品の開発など、積極的に環境保全活動に取り組んでいます。

<協働の森事業への参加>

高知県、高知市と「協働の森事業」パートナーズ協定を締結、高知市鏡柿ノ又の市有林を「未来を鏡に～四銀絆の森」と名付け、高知市とともに守り育てています。

<絆の森交流会>

「協働の森事業」パートナーズ協定締結を記念して小学校の生徒や保護者を毎年招待し交流会を開催、「四銀絆の森」で植樹、間伐見学、木工教室などを実施しています。

<NPOとの協働間伐>

「四銀絆の森」で、行員と高知市の職員の方々が結成したNPO「こうち森林救援隊」と協働で間伐を行っています。24年度は3回、延べ69名が参加し、約1haの間伐を行いました。

<協働の森フォーラム>

毎年、高知県知事と関係市町村長、協定締結企業のトップが一同に集うフォーラムが開催されており、当行も毎年参加しています。



●資産運用セミナー

将来のゆとりある生活設計に向けて、これからの資産運用のご参考にしていただくために、資産運用セミナーを開催し、資産運用の考え方や取扱商品のご案内をしています。



●年金相談会

地域の皆さまの年金手続きのお役にたてるよう「年金相談会」を開催しています。また、各営業店に年金アドバイザーを配置し、年金に関するお客さまのご相談にお応えしています。



●経営講演会

平成24年10月に高知、徳島で経営講演会を開催しました。高知会場には作家の江上剛氏を、徳島会場には第一生命経済研究所 首席エコノミストの熊野英生氏をお迎えし、多数の皆さまのご聴講をいただきました。



江上 剛氏



熊野 英生氏

●夏休み子ども教室

平成24年8月、小学生を対象にした「夏休み子ども教室」として、お金の大切さや金融の仕組みの理解のため「お金のセミナー」を、ものづくりを担う人材の育成のため「科学教室」を開催しました。今後も、地域の将来を担う子どもたちの育成支援に取り組んでまいります。



要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
	金額	金額
（資産の部）		
現金預け金	154,654	284,676
コールローン及び買入手形	1,247	1,743
買入金銭債権	16,238	11,459
商品有価証券	245	419
金銭の信託	2,583	2,577
有価証券	817,782	782,127
貸出金	1,564,181	1,577,936
外国為替	1,944	1,490
その他資産	11,972	12,129
有形固定資産	42,733	41,491
無形固定資産	5,618	4,376
繰延税金資産	10,963	4,314
支払承諾見返	8,689	6,882
貸倒引当金	△23,425	△26,684
資産の部合計	2,615,430	2,704,941

◆資産の部

お客さまへのご融資を示す「貸出金」や国債・株式などで運用している「有価証券」など銀行の資産の内訳を表わしています。

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
	金額	金額
（負債の部）		
預金	2,367,158	2,374,223
譲渡性預金	34,570	107,827
コールマネー及び売渡手形	13,932	24,814
借入金	32,860	38,805
外国為替	3	10
社債	17,000	7,000
その他負債	23,748	19,384
退職給付引当金	7,159	7,069
役員退職慰労引当金	302	12
睡眠預金払戻損失引当金	855	883
ポイント引当金	24	47
再評価に係る繰延税金負債	6,571	6,455
支払承諾	8,689	6,882
負債の部合計	2,512,876	2,593,417
（純資産の部）		
資本金	25,000	25,000
資本剰余金	6,563	6,563
利益剰余金	48,898	51,969
自己株式	△1,365	△1,372
株主資本合計	79,095	82,159
その他有価証券評価差額金	10,532	16,498
繰延ヘッジ損益	△359	△438
土地再評価差額金	10,808	10,640
その他の包括利益累計額合計	20,980	26,700
新株予約権	—	33
少数株主持分	2,477	2,629
純資産の部合計	102,553	111,523
負債及び純資産の部合計	2,615,430	2,704,941

◆負債の部

お客さまからお預りしている「預金」をはじめ、資金の調達状況など負債の内訳を表わしています。

◆純資産の部

株主の皆さまからご出資いただいた資金（資本金）やこれまでに利益などから蓄えてきました剰余金などを表わしたものであり、銀行の「体力」というべきものです。

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
	金額	金額
経常収益	47,119	48,951
資金運用収益	35,996	33,640
(うち貸出金利息)	(26,111)	(24,667)
(うち有価証券利息配当金)	(9,490)	(8,631)
信託報酬	0	0
役務取引等収益	5,941	6,372
その他業務収益	3,366	6,728
その他経常収益	1,814	2,210
経常費用	41,850	39,958
資金調達費用	2,952	2,248
(うち預金利息)	(2,091)	(1,478)
役務取引等費用	1,353	1,326
その他業務費用	1,017	573
営業経費	28,621	27,036
その他経常費用	7,906	8,774
経常利益	5,269	8,993
特別利益	55	70
特別損失	401	842
税金等調整前当期純利益	4,923	8,221
法人税、住民税及び事業税	209	446
法人税等調整額	2,599	3,510
法人税等合計	2,809	3,957
少数株主損益調整前当期純利益	2,113	4,264
少数株主利益	126	170
当期純利益	1,987	4,093

◆ 経常収益

銀行が通常の業務により得た収益を表わしたもので貸出金利息、有価証券利息配当金、各種手数料などで構成されています。

◆ 経常費用

銀行が通常の業務を行ううえで支払った費用を表わしたもので、預金利息や営業経費などで構成されています。

要約貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

科目	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
	金額	金額
（資産の部）		
現金預け金	154,654	284,676
コールローン	1,247	1,743
買入金銭債権	16,238	11,459
商品有価証券	245	419
金銭の信託	2,583	2,577
有価証券	816,856	781,205
貸出金	1,563,511	1,577,319
外国為替	1,944	1,490
その他資産	11,957	12,090
有形固定資産	42,622	41,384
無形固定資産	5,610	4,369
繰延税金資産	10,604	4,002
支払承諾見返	8,689	6,882
貸倒引当金	△22,252	△25,606
資産の部合計	2,614,513	2,704,015

◆資産の部

お客さまへのご融資を示す「貸出金」や国債・株式などで運用している「有価証券」など銀行の資産の内訳を表わしています。

（単位：百万円）

科目	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
	金額	金額
（負債の部）		
預渡性預金	2,368,456	2,375,549
コールマネー	36,570	109,827
借入金	13,932	24,814
外国為替	32,860	38,805
その他負債	3	10
退職給付引当金	17,000	7,000
役員退職慰労引当金	22,067	17,852
睡眠預金払戻損失引当金	7,097	7,000
ポイント引当金	285	-
再評価に係る繰延税金負債	855	883
支払承諾	24	47
負債の部合計	6,571	6,455
（純資産の部）	8,689	6,882
資本剰余金	2,514,414	2,595,129
資本準備金	25,000	25,000
利益剰余金	6,563	6,563
利益準備金	6,563	6,563
その他利益剰余金	48,873	51,909
別途積立金	15,527	15,764
繰越利益剰余金	33,345	36,144
自己株式	25,000	25,000
株主資本合計	8,345	11,144
その他有価証券評価差額金	△1,273	△1,280
繰延ヘッジ損益	79,162	82,191
土地再評価差額金	10,487	16,459
評価・換算差額等合計	△359	△438
新株予約権	10,808	10,640
純資産の部合計	20,936	26,661
負債及び純資産の部合計	-	33
	100,099	108,885
	2,614,513	2,704,015

◆負債の部

お客さまからお預りしている「預金」をはじめ、資金の調達状況など負債の内訳を表わしています。

◆純資産の部

株主の皆さまからご出資いただいた資金（資本金）やこれまでに利益などから蓄えてきました剰余金などを表わしたものであり、銀行の「体力」というべきものです。

要約損益計算書（単体）

（単位：百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）	（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）
	金額	金額
経常収益	46,798	48,657
資金運用収益	35,984	33,630
（うち貸出金利息）	(26,106)	(24,659)
（うち有価証券利息配当金）	(9,483)	(8,629)
信託報酬	0	0
役務取引等収益	5,649	6,109
その他業務収益	3,366	6,728
その他経常収益	1,797	2,188
経常費用	41,861	39,994
資金調達費用	2,952	2,248
（うち預金利息）	(2,092)	(1,478)
役務取引等費用	1,680	1,620
その他業務費用	1,016	573
営業経費	28,477	26,897
その他経常費用	7,734	8,653
経常利益	4,936	8,663
特別利益	55	70
特別損失	401	842
税引前当期純利益	4,590	7,891
法人税、住民税及び事業税	43	377
法人税等調整額	2,589	3,455
法人税等合計	2,633	3,833
当期純利益	1,957	4,058

◆ 経常収益

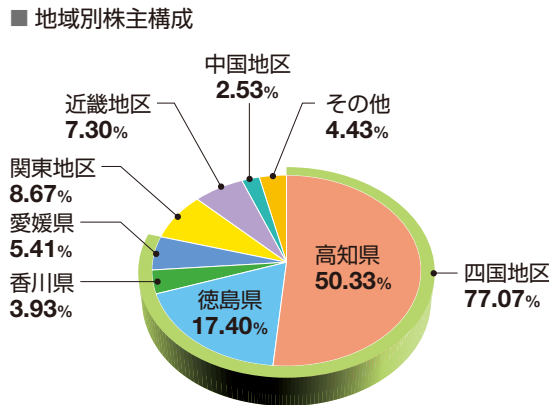
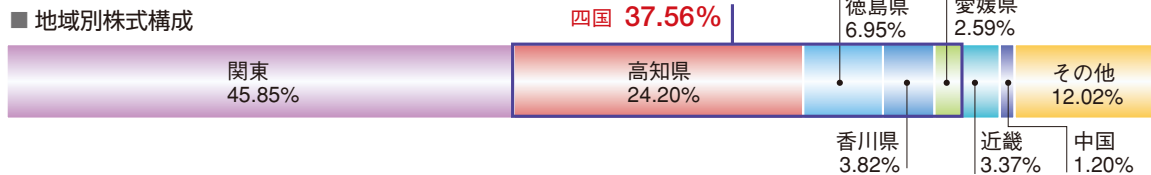
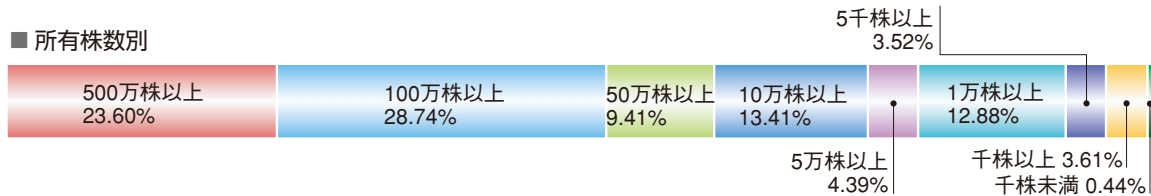
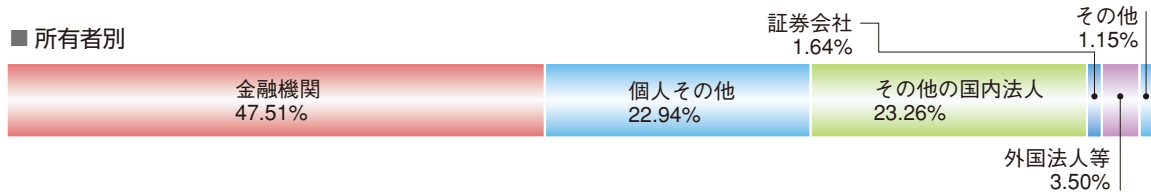
銀行が通常の業務により得た収益を表わしたもので貸出金利息、有価証券利息配当金、各種手数料などで構成されています。

◆ 経常費用

銀行が通常の業務を行ううえで支払った費用を表わしたもので、預金利息や営業経費などで構成されています。

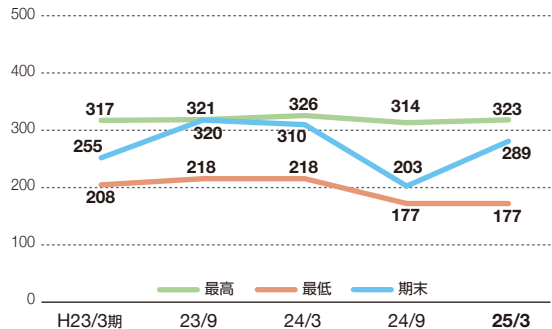
株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 株主数 9,796人
- 発行済株式の総数 218,500,000株
- 株式の分布状況 (単元未満株を含む)



● 株価の状況

当行の株価推移 (円) 期中における最高・最低・期末株価



● 株式のご案内

◆ 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。

◆ 配当のお支払

1. 期末配当は、毎年3月31日を基準日とし、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。
2. 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とし、取締役会の決議によってご指定の方法によりお支払いいたします。

◆ 基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。

◆ 公告方法（電子公告）

当行の公告は、ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、高知新聞および日本経済新聞に掲載いたします。

◆ 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でも お取扱いいたします。 *カスタマープラザではお取り扱いできませんのでご了承ください。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式 の振替手続を行っていただく必要があります。

● 当行の概要 (平成25年3月31日現在)

名称	株式会社四国銀行
英文表示	The Shikoku Bank, Ltd.
本店所在地	〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL:088-823-2111(代表)
創業年月日	明治11年10月17日
資本金	250億円
店舗数	118店舗(代理店を含む) (高知県67店舗、徳島県23店舗、 香川県9店舗、愛媛県9店舗、 本州10店舗)
従業員数	1,499人



● 通帳・キャッシュカード等紛失時連絡先

	電話受付時間	連絡先	連絡先電話
平日	08:40 ~ 17:00	各お取引店	各お取引店
	上記以外の時間帯	カード受付共同センター	☎0120-009-459
銀行休業日	24時間		



発行：平成25年6月 株式会社四国銀行 総合企画部
〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL.(088)823-2111
<http://www.shikokubank.co.jp/>